

●高齢者の方の事例

こんな心配ごとや
困りごとがあったら・・・



成年後見人等は
このようなことを行います！

①母親名義の自宅が売却できない

認知症が進んできた母親のために、娘のBさんは母親名義の自宅を売って、有料老人ホームに入所させたいと考えていました。しかし、母親本人ではないので売却の手続きができないと言われてしまいました。



娘のBさんでもできないとなると、一体誰ならできるの？



家庭裁判所の許可を得た上で、Bさんの母親に代わって本人名義の自宅を売却する手続きを行います。その後、有料老人ホーム入所に伴う契約等も行います。

②父親の年金が搾取されている

Cさんは重度の認知症で施設に入所しています。最近、施設利用料の支払いが滞るようになったため、次男が確認したところ、Cさんの年金の管理をしている長男が借金返済のために使っていることがわかりました。



Cさんの年金がCさん自身のために使われるようにするにはどうしたらいいの？



Cさんの年金から施設利用料を支払ったり、年金の受給に関する必要な手続きを行うなど、Cさんが安心して施設で生活できるよう財産の管理を行います。

③お金が引き出せない

高齢の母親が意識不明の重体で入院。息子のDさんが入院費を母親名義の預金から引き出そうとしたら、銀行から本人の委任状が必要だと言われてしまいました。



本人は委任状なんて書けないし...。どうすれば必要なお金を引き出せるの？

Dさんの母親に代わって、母親名義の預金を引き出し、入院費用を支払います。また、今後、母親本人にとって必要となる契約や手続きについても本人に代わって行います。

